

国際的な循環型社会の構築 に向けたJICAの取り組み (第47回循環型社会計画部会資料)



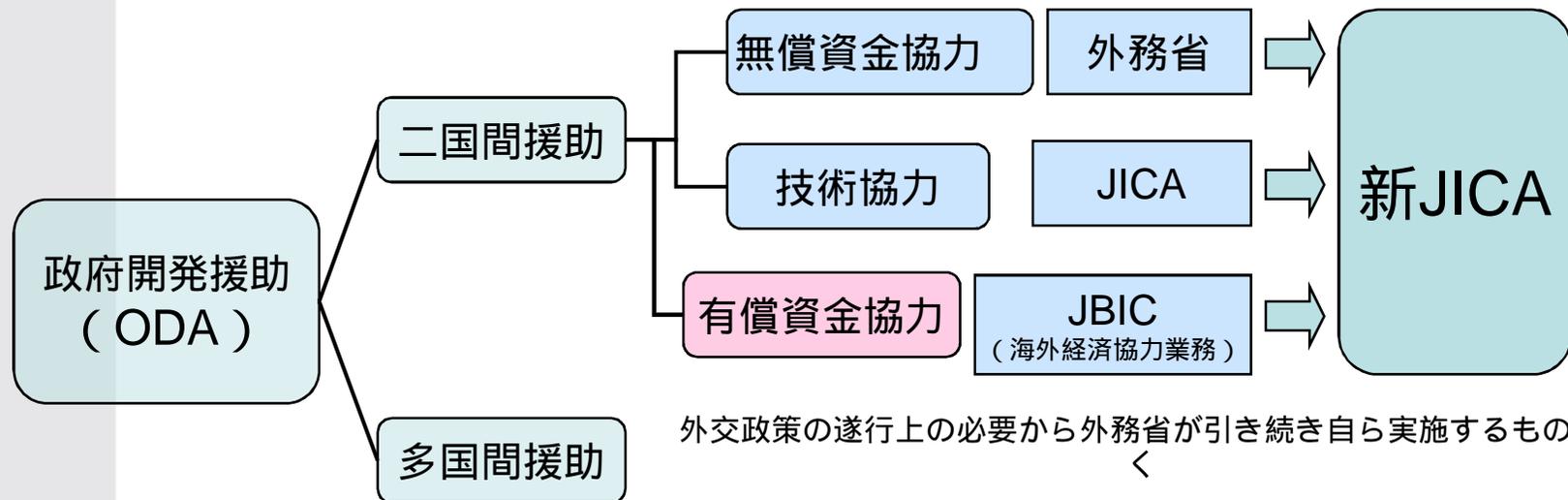
国際協力機構地球環境部環境管理グループ

森 尚樹

2008年10月29日

新JICA設立について

- ・ 08年10月1日に新JICA設立
- ・ ODAの実施機関の一元化により技術協力、有償資金協力、無償資金協力を一体的に担う態勢を構築
- ・ 援助手法を有機的に連携した効果的・効率的な援助の実現
- ・ 総事業規模 約1兆円強、職員数約1,600人、150以上の国に対して総合的に開発援助を実施



JICAのアプローチ

3Rの推進のためには、国、地方自治体、市民そして民間セクターの協働が必要であり、JICAでは、各関係主体の対処能力向上と連携強化を主眼とした協力を実施しています。

1 国家レベルの法制度整備

3Rを通じた循環型社会の構築に向け、廃棄物の適正管理や排出抑制、再利用やリサイクルによる減量化を国家レベルで推進するための法制度整備を支援しています。また、法令の実行を図るための基本方針や計画作り、計画の実行に対する支援や計画策定に必要な各種情報の整備支援を行っています。

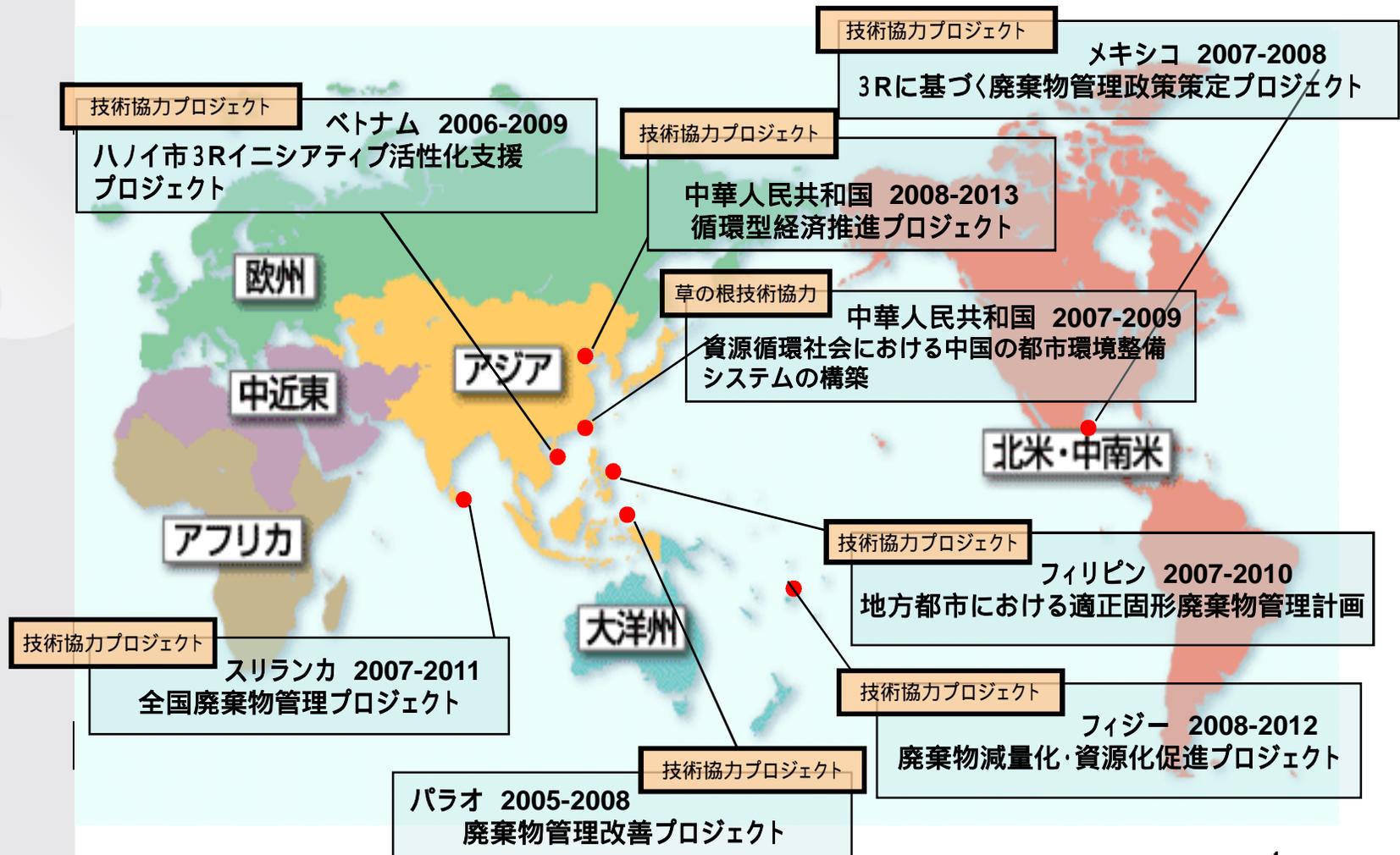
2 廃棄物管理を担う自治体の対処能力強化

市民を巻き込んだ3Rの推進支援のための自治体レベルの廃棄物管理体制作り、実行計画作り、及び計画の実施支援等を行っています。また、コンポスト化などによる廃棄物の排出抑制や分別収集、コミュニティ回収などを市民と共同で進めていくための制度作りや住民の意識啓発、環境教育の推進などを行っています。

3 民間セクターの3R推進支援

民間セクターの廃棄物排出量抑制や資源の再利用を進めるため、リサイクル産業の振興、エコデザインの導入、企業の自主的取り組みを促進するための経済的手法の検討、資源の再利用や再資源化技術の紹介等を支援しています。また、民間セクターと行政や市民との関係をつなぐエコラベル制度やグリーン購入等の促進に対する支援も行っています。

3R関連分野におけるJICA支援活動



循環型社会の形成に向けた廃棄物発生・排出の適正化 ベトナム国「ハノイ市3Rイニシアティブ活性化支援プロジェクト」



ハノイ市 ナムソン処分場

目的: ハノイ市全域における分別収集を基調とする調和のとれた3Rの取り組みの準備が整い、ハノイ市において循環型社会が形成されることを目指す。

成果

生ゴミ分別収集を基調とするパイロットプロジェクトの実施及びハノイ市全域拡大のための行動計画作成

もったいない精神に基づく3Rのための環境教育の実施

分別収集と環境教育の普及

分別収集を基本とする都市ゴミ管理改善のための戦略ペーパーの開発

- ベトナムでは急激な社会経済発展及び都市化の進展に伴い環境汚染が顕在化した。
- 環境に配慮した「ベトナムアジェンダ21」を2004年に採択し、工業国化・近代化の確立という国家戦略の中に、環境保護政策の強化を謳い、3Rイニシアティブを最重要課題として位置づけている。
- 固形廃棄物の発生は都市ゴミが80%を占めており、ハノイ市では、2020年までに廃棄物の30%を循環的利用目指している。
- そのような状況下、国際的に3Rイニシアティブを提唱し、固形廃棄物管理に対し豊富な実績と経験を持つに技術協力が要請された。
- 2006年11月から3Rイニシアティブ活性化支援プロジェクトが開始され、現在実施中である。



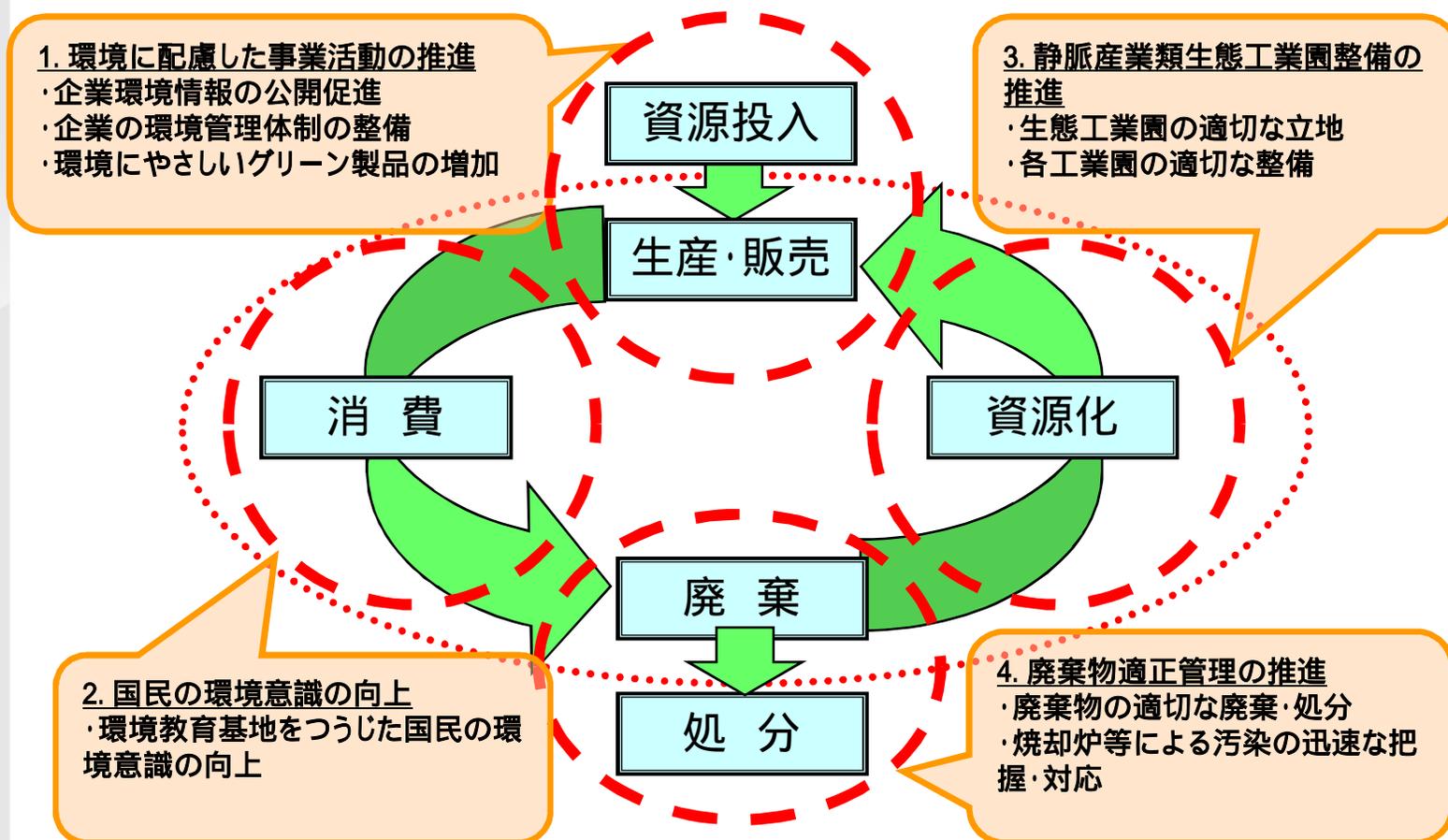
3Rボランティアによる
WorldEnvironmentDayのキャンペーン



タンコン・モデル地区において家庭用コンテナに分別表を貼り付けている子供達

中華人民共和国「循環型経済推進プロジェクト」

環境保全の視点から循環経済施策を推進するため、物質循環の各過程における環境配慮にかかる諸施策の実行能力の強化を図る。



循環型社会を目指した廃棄物管理のための法制度面の改善 メキシコ国「3Rに基づく廃棄物管理政策策定プロジェクト」



メキシコ市 廃棄物集積場 (出展:monthly JICA)

- メキシコは、経済発展に伴い大気汚染問題と共にゴミ問題を抱えている。
- 廃棄物を削減し、再生可能な資源の回収と再利用・再循環を促す3Rコンセプトに基づいた廃棄物管理の導入と循環型社会の実現を目指している。
- 2003年「廃棄物の抑制と総合的管理に関する一般法」が制定され、国家プログラムの策定が準備されていた。
- そのような状況下、3Rに知見の深い我が国に技術協力が要請された。
- 3Rに基づく廃棄物管理政策策定プロジェクトを2007年5月から開始し、3Rコンセプトを盛り込んだ国家プログラムを策定し、2008年11月に終了予定である。

目的

メキシコ合衆国における廃棄物総合管理に関し、3Rの概念の基づく国家プログラムを策定し、循環型社会への取り組みが効果的に実施されることを目指す。

成果

メキシコ合衆国の3Rに関する現状分析

- 基本分析書、LCA調査等既存資料レビュー及び提言
- 日本の3Rに関する経験の共有
- ワーキンググループの開催及び日本の経験紹介
- 地方自治体を対象にセミナー開催支援

様々なセクターの代表から構成されるワーキンググループの議論から、国家プログラムに盛り込まれるべき項目の選定

- 3Rに基づく廃棄物国家プログラムへの提言

天然環境資源省、環境庁、国立環境研究研修センターの3Rに関する政策志向研究能力の向上



資源選別施設における手作業による分別作業

新JICAによる今後の協力の方向性

今後も、我が国環境省の取り組みと連携をとりつつ、以下の視点による協力を展開

1. 包括的な支援

技術協力、有償資金協力、無償資金協力による総合的な支援

- ・ プログラム化の推進による包括的な廃棄物管理支援の実施

2. 連続的な支援

継ぎ目のない連続的な支援の展開

- ・ マスタープラン策定から、能力強化技術協力、最終処分場改善・建設支援へ、流れを意識した廃棄物管理支援

3. 開発パートナーシップの推進

- ・ 政策支援と技術支援の連携

例 3R国家戦略策定支援との連携(ベトナムなど)

4. 国境を越えた地域としての3Rの推進

- ・ 地域性を意識した広域技術協力支援の展開

例 メキシコ3Rの中南米地域への普及(第三国研修)

例 大洋州における廃棄物管理広域プログラムの形成

ご静聴ありがとうございました



For a better tomorrow for all.
Japan International Cooperation Agency

